



国立精神・神経医療研究センター  
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

#### 【対象となる方】

バイオバンクにご同意いただいた方で

うつ病、統合失調症と診断された方、特に疾患のない方

#### 【研究課題名】

うつ病の患者における精神疾患関連遺伝子の代謝物に関する研究

#### 【研究責任者】

新田 淳美(富山大学 学術研究部 薬学・和漢系 薬物治療学)

#### 【本研究の目的及び意義】

当研究室のこれまでの研究で、Shati/Nat8Iという分子が、神経伝達にかかわり、うつ病患者の血中で変化していることが明らかになりました。そこで、今回は、より大規模で詳細な解析を行い、うつ病症状を定量的に診断するマーカー（目印）となる可能性を調べます。

#### 【本研究に提供する試料・情報】

血液（血漿）

性別、年齢、診断名、既往歴、家族歴、服薬情報、心理検査の結果

#### 【研究期間】

承認後～2025年3月31日

#### 【試料・情報等扱う機関】

なし

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)